



少年センターだより



令和3年5・6月号(第412号)

毎月1日「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく! 第3日曜日「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話, 家族の輪

大村市少年センターの紹介

令和3年度も、青少年の健全育成のため、関係機関・団体と協力して業務を遂行していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



【所在地】大村公園付近、陸上競技場前の大村市教育の館(梶山御殿)内に事務所があります。

【運営方針】

大村市教育方針に則り、深い愛情と強い信念を持ち、関係機関・団体と連携を図り、非行の未然防止と健全育成・環境浄化に努める。

【少年センターの主な業務内容】

少年の補導及び相談に関すること	青少年問題の調査・研究及び資料収集に関すること	関係機関・団体との連携・協力に関すること	少年の非行防止及び保護育成に関すること	青少年の健全育成に関すること
<ul style="list-style-type: none">街頭補導電話やメール相談(非行問題や不登校など)	<ul style="list-style-type: none">自転車の施錠調査メディア安全教育推進	<ul style="list-style-type: none">警察署、学校、健全協等関係機関・団体との連携	<ul style="list-style-type: none">非行被害防止キヤラバン等白ポスト回収店舗の立入調査	<ul style="list-style-type: none">ココロねっこ運動の推進健全育成研究大会

着任のご挨拶

今年度の人事異動により少年センターのスタッフが代わりましたのでお知らせします。

少年センター所長 前田 勝盛

4月の人事異動で長寿介護課から社会教育課(少年センター)へ配属となりました。

私は、昨年度まで地元の町内会長を2年間務め、3年前までは、小学生のサッカークラブで指導に当たっておりました。その中で、地域づくりは地域の方々とのつながりが大切であること、子どもたちとは真剣な姿勢でかわかることで健全な成長につながることを学びました。

これから、多くの方々のご指導ご協力を賜りながら、立場はかわりますが、微力ながら青少年の健全育成に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

少年センター主任 永井 秀和

4月に地域げんき課(市民110番)から社会教育課(少年センター)へ配属となりました。

初めての仕事で、皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご指導、ご協力をいただきながら、子どもたちの健全育成のために取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

少年センター事務補助 松尾 由希子

このたび4月1日から少年センター事務補助として着任いたしました。少年センターに関する業務はまだ不慣れですが、業務が円滑に進むよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

以上3名と、指導主事【濱田・一瀬】の5名でこの1年間頑張ります。よろしくお願いいたします。

【令和2年度 大村市内の補導状況報告】※大村市少年補導委員による定期巡回補導より

飲酒	喫煙	薬物乱用	乱暴けんか	金品不正要求	性的いたずら	暴走行為	家出
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
無断外泊	深夜徘徊	怠学	不健全性行為	不良交友	不健全娯楽	その他	合計
0件	0件	0件	0件	0件	0件	510件	510件
その他内訳	交通違反(自転車)	ゲームセンター等	男女交際	愛の声かけ			
510件	89件	77件	6件	338件			

- ※ 2年度の大村市少年補導委員の巡回街頭補導では、大きな問題は起きていません。
- ※ 「その他」510件のうち、交通違反の指導は、自転車の無灯火や並進、アーケード内での乗車がほとんどでした。店舗や駅の駐輪場での無施錠が見受けられました。
- ※ 夏季・冬季休業中や、午前中で授業が終わる日にゲームセンターにおいて子どもの姿が見られ、保護者同伴かどうかを確認し、必要に応じて指導、愛の声かけを行いました。
- ※ 今年度も、帰宅中の児童生徒への愛の声かけ等を行い、非行・被害の未然防止に努めます。

< 連載コラム >

「ハイ」という言葉を覚え始めた真美子よ／その言葉は人間のいちばん美しい言葉だ／
 (中略)／すやすや昼寝しているときでも 誰かが外で呼んだりすると／ハイと言って
 パッと目を覚ます真美子よ／(中略)／今朝、ふと目を覚ましたら お前はまだうとうと
 しながら 「ハイ」という言葉を何度も言っているではないか／わたしは そのいじらし
 い心に打たれてとび起きた／そうして、お前のすこやかな成長を祈った(後略)
 < 詩人 坂村真民 >

子どもたちの、「～したくない」「疲れるし」「どうせしても無理」という声を時々耳にすることがあります。

こんな時、「したくないならしなくていいよ」「無理ならせんでよかよ」と、子どもの言い分を聞いてばかりでも、そのまま放置していても、「せんばことはせんば」「あきらめるな」と根性論だけでも、子どもの成長にはつながりません。

わからなければ、「わかるようにていねいに教え」、できなければ「ハードルを下げて、小さな努力を重ねさせる」ことで「わかるように、できるように」なります。そして、きっとこの過程の中で、子どもたちは、小さな達成感・成功感を体感し、次なるチャレンジへとつなげていくはずです。

この時々の「声かけやサポート」の「タイミングや関わり方」により、その子のやる気や克己心に灯がともり、その子の「その子なりの成長」へとつながっていくのだと思います。

声かけやサポートをするのは、子どもに関わるすべての「わたしたち」です。そしてまた、「明日のわたしたち」を育てていくのも「わたしたち」なのです。

「失敗してもいい」「挫折してもいい」、「伸びよ、伸びよ、大きく伸びよ」「自分の道は自分で切り開いてほしい」といつもいつも子どもたちの「健やかで心豊かな成長」を願っています。

< ひびK・I >



青少年に関する相談は少年センター(月～金 8:30～17:30)へ
 ☆相談電話(ヤングテレフォン)0957-49-5263
 ☆Eメール相談 : kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp